



岩本山公園にて 撮影:植田眞晴

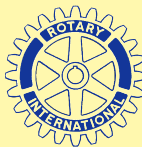
VOL. 2822

Rotary International

「結束の力で未来を創る」

第2822回例会 2024.8.28

ソング「四つのテスト」



富士ロータリークラブ **WEEKLY**

<http://fuji-rc.com/>

例会日:毎週水曜日 12:30  
例会場:ホテルグランド富士  
TEL(0545)61-0360  
事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1  
ホテルグランド富士内  
会長:佐藤 昌久  
副会長:田村 洋  
幹事:石橋 広明  
副幹事:塩谷 知一

会長挨拶

佐藤 昌久



まず、先日の日曜日に開催されたジュニア防災士講座について、社会奉仕委員長の池田さん、お疲れ様でした。私も講座に参加をさせていただき、大変勉強になりました。子供たちが防災について学ぶことは、地域の未来を守るための大切な一歩です。今回の講座を通じて、参加した子供たちが防災意識を高め、いざという時に行動できる力を身につけたことは、私たちにとって大きな喜びです。さて、今週は台風が日本列島を縦断するという予報の中、各地で警戒が強まっています。台風による大雨や強風、さらには土砂災害や洪水などのリスクが高まるこの時期、私たちは日頃からの備えをしっかりと行うことが重要です。ジュニア防災士講座で学んだ内容も、このような自然災害への備えに生かしていただけると感じています。台風が接近しているときには、まず正確な情報を収集し、必要な対策を早めに取りることが求められます。また、家族や職場、そして地域で防災対策を共有し、避難経路や避難場所の確認を行うことが大切です。災害時には、冷静な判断と迅速な行動が命を守る鍵となります。私たちロータリアンも、地域の一員として、防災についても関心を持ち、災害時においても地域を支えられる存在でありたいと思います。今回の防災士講座のような活動を通じて、次世代のリーダーが育ち、私たちの地域がより強く、安全なものになると良いと思います。皆さまも、台風の影響が続くこの時期、くれぐれも安全を第一に考え、引き続き注意を払ってお過ごしください。

親睦委員会

榮賀 明

家族誕生日 塩谷 綾子 8.3.0  
創立記念日 植田 眞晴 S36.9.1

★私のスマイル

佐藤昌久君 社協、渡辺会長、ボランティアセンターの加藤さん、ジュニア防災士講座、参加をさせて頂きありがとうございました。  
池田大祐君 先日の日曜日、富士社協さんにてジュニア防災士講座ありがとうございました。私事ですが、今週の土曜日から10ヶ月間、ドイツからの留学生を預かることになりました。がんばって奉仕活動にのぞみます。  
石井 肇君 8月19日、第2子が誕生しました。  
8/7コーヒーの会

本日合計 ¥6,500 7月からの累計 ¥69,000

出席報告

榮賀 明

2822回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
32名	31名	10名	21名	67.7%

2820回 8/7確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
33名	31名	8名	23名	74.1%

ポールハリスフェロー表彰



例会プログラム予告

- 9月4日 クラブフォーラム(会員増強)
- 9月11日 夜間例会(観月会)

# 卓 話



富士市社会福祉協議会  
会長

渡 辺 様



富士市社会福祉協議会  
ボランティアセンター

加 藤 様

## 「富士社協と富士ロータリークラブとのかかわり」

昨年に富士3ロータリークラブと富士社協とで締結した「自然災害時における災害ボランティアセンター支援に関する連携協定」の目的と、活動の振り返りをおこないました。

本協定は、地震や風水害などが発生し、災害ボランティアセンターを富士社協が開設した際に、3クラブが必要に応じて、設備や資器材の提供、専門性を生かした人的・物的支援などを展開することを想定しています。3クラブには、様々な企業の代表者等合計120人余りが所属、災害の種類や内容に応じた幅広い支援を期待。支援要請を受けた際に可能な範囲で支援をおこないます。通信途絶などにより、要請依頼を行うことができない場合には、状況に応じた自主的判断で支援を実施することとします。協定が円滑に運用されるように平時から必要に応じた情報交換をおこなうこととなっております。

また、連携協定の話題のほかに、昨年度に社会奉仕活動として実施した、「富士川社会福祉センター訪問、寄贈事業」で一緒に活動をした障害者からの喜びの感想や、今後の共同活動に対する富士社協の想いに触れることができました。

さらに、「ふじのくにジュニア防災士養成講座」を昨年に続き第二回目の活動を8月25日（日曜日）に実施しましたが、参加者の家族から本講座に対して嬉しいメッセージを聞くことができ、受講学生からもとても楽しく受講することができた、とコメントを受けました。

